



E 『まちづくり』分野

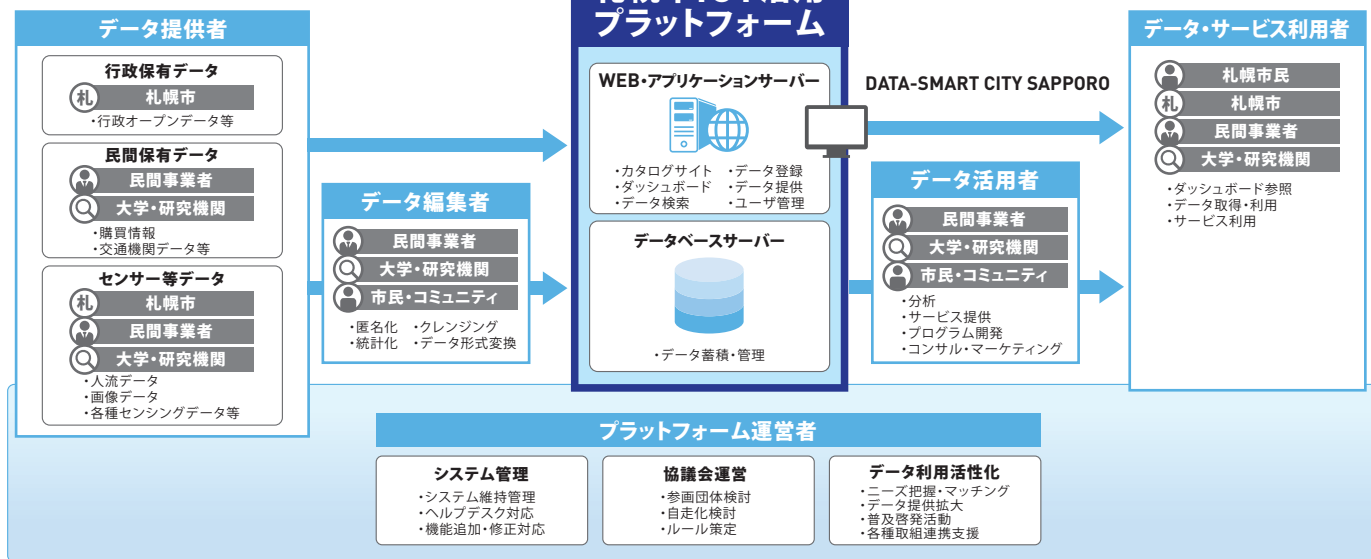
札幌市 ICT活用プラットフォーム構築事業

(実証地域: 北海道札幌市)

自治体 北海道札幌市

代表企業・団体名 (一財) さっぽろ産業振興財団

『札幌市ICT活用プラットフォーム』の全体像



主に3分野5事業でICT活用(データ収集・分析・利活用)を推進している

- 観光分野**
  - ① 人流×購買データを活用した外国人観光客向け消費促進・周遊促進サービス
  - ② 観光客向け交通情報一元化提供サービス
- 健康分野**
  - ③ 健康行動促進を目的としたビッグデータ収集と活用
- 交通・雪対策分野**
  - ④ 冬季プローブカーデータの収集・提供およびスマート除排雪サービス
  - ⑤ 冬季路面情報の収集・提供および砂まき行動促進サービス

事業実施の背景・課題

■ 本事業における背景・目的

少子高齢化の影響による人口減少及び生産年齢人口の減少が全国的に進み、人手不足や経済規模の縮小が懸念される中、札幌市においても同様の現象が今後進むことが見込まれている。

そこで札幌市は、このような課題の解決に向けたICT活用の指針として「札幌市ICT活用戦略」を策定し、同戦略に基づく先進的・分野横断的な取組として札幌市ICT活用プラットフォーム構築事業に着手した。

この事業では、官民が保有する様々なデータを集積・活用するための共通基盤を構築するとともに、個別分野における都市

課題解決とデータ収集を目的とした3分野における5つの実証事業を実施した。

実証事業の主な内容・成果等

1) 体制整備/プラットフォームの開発

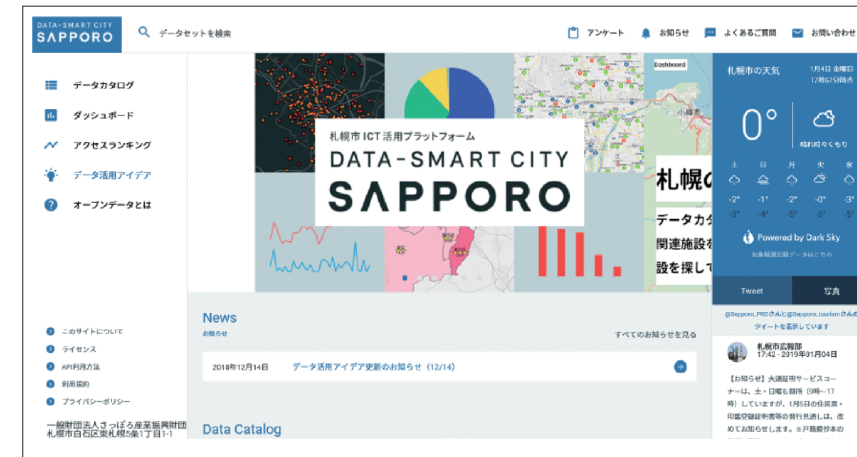
① 札幌市ICT活用プラットフォーム検討会  
分野横断的なICT活用の検討体制を整えるため、「札幌市ICT活用プラットフォーム検討会」を設立した。また、個別分野でのICT活用を推進するため「スポーツ・観光ICT推進部会」、「交通・雪対策ICT推進部会」、「健康ICT推進部会」を順次設立した。



札幌市におけるICT活用の検討体制

② プラットフォームWebサイト

収集したデータを登録し、データを蓄積するプラットフォームWebサイト「DATA-SMART CITY SAPPORO」を開設した。本サイトはダッシュボード(データを集約・分析・統計化し図表やグラフで表示)やアカウント管理機能を有している。



プラットフォームWebサイト「DATA-SMART CITY SAPPORO」

※(サイトURL)  
<https://data.pf-sapporo.jp/>



2) 実証事業

【観光分野】

① 人流×購買データを活用した外国人観光客向け消費促進・周遊促進サービス

札幌市の主要産業である観光分野に注目し、年々増加している外国人観光客の滞在中の移動や購買行動等の分析を行った。

A. データの収集

外国人観光客の属性情報、人流情報等を取得するために、観光情報提供アプリと連携した。同アプリを街なかに設置したビーコン端末や携帯電話のGPSと連動させ、人流(流動・滞留)データを収集した。民間企業の協力により、携帯電話基地局のデータに基づく人流情報も併せて活用した。

また、市内の商業・観光施設など約20施設にデータ提供を依頼し、外国人観光客の購買データを収集した。



ビーコン端末を通じて人流データを収集

I. データの分析

収集した人流データと購買データをクロス分析することにより、国籍別に外国人観光客の行動特性を抽出した。

U. 分析結果の提供と活用

購買データを提供した商業・観光施設等に分析結果を還元した。

各施設等においては、データ提供事業者全体と自社における売れ筋商品の比較によるマーケティングや、店舗周辺に多く滞留する外国人観光客に向けた誘客プロモーションなどに活用した。

② 観光客向け交通情報一元化提供サービス

市内の各種交通機関に依頼し、各種交通機関の運行・遅延情報を収集した。収集した情報は、Webサイトや市内サイネージを通じて、多言語表示にて配信した。

また、収集した運行・遅延情報は、プラットフォームにおいてオープンデータとして提供されている。

【健康分野】

③ 健康行動促進を目的としたビッグデータ収集と活用

スマホアプリを活用し、年齢等の属性情報と歩数等の健康データを収集した。健康活動のインセンティブとして、参加

者に歩数に応じたポイントを付与した。また、アンケートにより事業参加者の健康意識の変化を把握した。

【交通・雪対策分野】

④ 冬季プローブカーデータの収集・提供およびスマート除排雪サービス

ごみ収集車等に搭載したセンサーから路面情報(画像データ、位置データ、加速度データ、温度)を収集した。

路肩の積雪や路面状況等を原因とした渋滞が発生しやすい時期や区間を特定し、重点的に除排雪を行うことを目的として、収集データと除排雪実施記録等を掛け合わせた分析を実施した。

⑤ 冬季路面情報の収集・提供および砂まき行動促進サービス

Webページを通じて市民から歩道の路面状況に関する情報を収集した。自由に利用可能な滑止め材を提供するために設置されている「砂箱」の位置・在庫情報、雪道で転倒した搬送者の情報も併せて活用し、転倒危険箇所の注意喚起や滑止め材の利用促進に向けた情報発信などを行った。

今後の展開

■ 札幌市

① データ利活用の促進

民間におけるデータ活用ニーズと提供データのマッチングを進めるコーディネーターの活動などにより、データ活用の活性化を図る。

また、データ利用者の増加と活用事例創出を目的として、データ活用に関するセミナー・勉強会等を開催する。

② 外部組織との連携

プラットフォームの運営や、イベントの開催、データ利活用人材の育成など、種々の取組を民間企業や市民団体、学術機関等と連携しながら推進する。

また、連携中枢都市圏への取組の展開を目指し、近隣自治体との連携も進めている。

A. 福祉・介護

B. 子ども・子育て

C. 医療・健康

D. 雇用・労働

E. まちづくり

F. 産業振興

G. 防犯・防災

H. 観光・文化・スポーツ

I. 環境対策